

「潮騒にとけた誰かの物語に、人生を揺らされてみるのも悪くないな」
たゆたう海がふと恋しくなる、
命の在処に還ったような一冊だった。
〔成生隆倫さん・BOOK COMPASS NEWoman新宿店〕

読者のなかにある海に関わる何気ない記憶を
呼び起こし、重なり合うことで
日々の暮らしを見つめ直す時間を
作ってくれるそんな作品でした。

〔齊藤一弥さん・紀伊國屋書店仙台店〕

日常のエアポケットに寄り添うカツセさんの
眼差しが心地よくも眩しい作品だった。

〔山本亮さん・大盛堂書店〕

海が側にあることで溢れてくる感情は
爽やかなものだけではありませんでした。

大きな鯨の死骸に対峙した時のような
生々しさに向き合った作品に飲み込まれました。

〔鶴見祐空さん・紀伊國屋書店西武東戸塚S.C.店〕

この海街に私たちも紛れ込んで、
物語の一部になっていた。

なかでも「海の街の十二歳」が一番好きです。
誰だってヒーローになるんだ！

〔佐々木知香子さん・未来屋書店入間店〕

書店員さんから感動の声、続々!

こんなに泣くなんて思わなかったな。
特に最後の「鯨骨」の余韻がすごい。
〔安藤由美子さん・未来屋書店四條畷店〕

気付けば自分の人生と
重ね合わせたり、
思い出に浸ったりと、
のんびりとした時間が心地よかった。

〔渡部知華さん・TSUTAYAサンリブ宗像店〕

終始そこはかとなく薄暗く
正解が見えないような視界の中で、
カツセさんの言葉が
きらりきらりと、光る。

〔鶴見真緒さん・紀伊國屋書店武蔵小杉店〕

誰かに出会えた事、
繋がりを持てた事を大切にしたいと
改めて感じさせてくれた。
とても大好きな作品です。

〔新井さゆりさん・文真堂書店ビバモール本庄店〕

わたたは、 わたしは、 海は、

The Coast
is Clear

生の営みを
鮮やかに
描き取った
傑作小説

〔四六判仮フランス装〕
定価1,870円(税込み)



← 特設サイトはコチラ

カツセマサヒコさんが撮影した海の写真とスペシャルメッセージが入った
「特製ポストカード7種セット」ほか、プレゼント情報も